



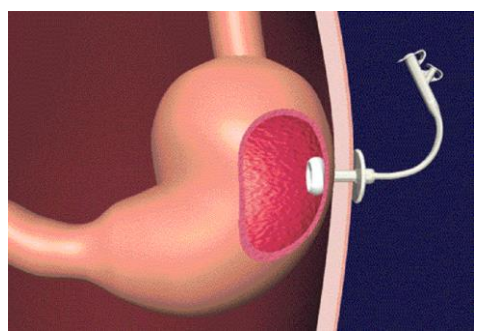
編集／前田 晋平 神 山 篤史  
 小柴 康利 黒 澤 聡子  
 畠 達夫 金 笑 奕  
 小林 実 佐 藤 奈央子  
 馬場 健太郎 森 山 さや香  
 佐々木 美奈 佐々木 麻美  
 渥美 淑子  
 発行／東北大学病院NST広報係  
 TEL.7120 FAX.7147

NUTRITION SUPPORT TEAM NUTRITION SUPPORT TEAM NUTRITION SUPPORT TEAM

今回のテーマは「胃瘻」です

## 胃瘻とは？

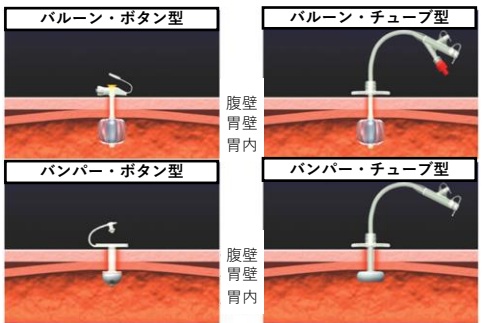
胃瘻とは胃内と体外を結ぶ交通路（瘻孔）と定義され、90年代後半より普及し、本邦では高齢化に伴い長期栄養管理としての需要が増加しています。また摂食障害が予想される頭頸部癌化学放射線療法前の予防的造設が多いのも当院の特徴です。



〈PDNレクチャー公開資料より引用〉

## 胃瘻の種類

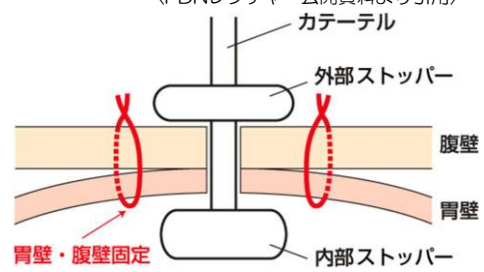
胃瘻カテーテルはチューブの長さによって2種類、内部ストッパーの形状によって2種類、計4種類あります。現在の主流はバンパー・ボタン型ですが、在宅医療では交換手技が容易なバルーン・ボタン型も人気です。近年、胃瘻挿入に先立ち周囲腹壁の縫合固定を数ヶ所行う事が多く、本穿刺がより安全に行える事と、瘻孔が完成するまで胃壁と腹壁の解離を防ぎ腹膜炎を予防するメリットがあります。



〈PDNレクチャー公開資料より引用〉

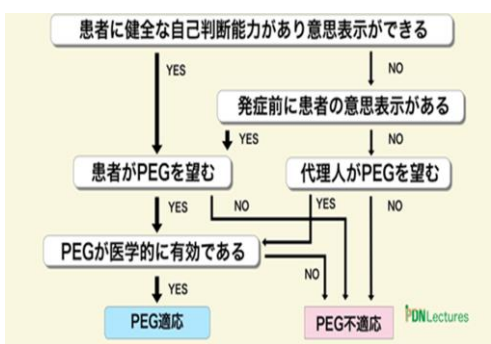
## 胃瘻の適応

正常の消化管機能を有し、4週間以上の生命予後が見込まれる成人・小児が造設対象です。嚥下摂食障害、頭頸部癌化学放射線療法前、繰り返す誤嚥性肺炎、緩和目的の減圧治療等が良い適応です。一方、内視鏡施行/通過不可、胃壁腹壁近接不可、補正できない出血傾向等の場合禁忌となります。



## 胃瘻トリビア

胃瘻をよく「PEG」と略しますが、正確には Percutaneous Endoscopic Gastrostomy(経皮内視鏡的胃瘻造設術)で本来「**手技**」の事を意味します。しかし最近このPEGという単語は慣用的に **胃瘻そのもの**を指す様になり、近年の学会でも通例として認められる様になりました。また、「**造**」設術のため「**増**」設ではありませんので是非ご注意ください。



造設必要な時は内視鏡センターへ御紹介ください

文責：金 笑奕 (消化器内科)